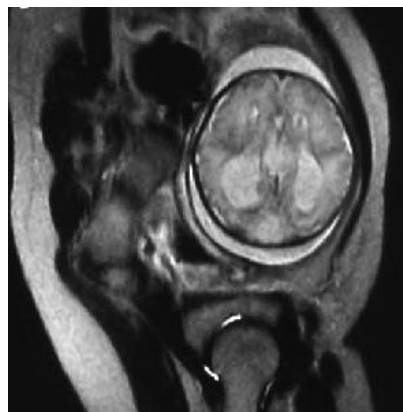


水頭症について

胎児期水頭症に対しては小児脳神経外科、小児科(新生児科)、産科、遺伝診療部など専門的な総合ケアチームでの出生前からのカウンセリングを行い、出産に対しては母子ともに優良な環境下でケアを行っています。



胎児期水頭症（母体 MRI）

先天性水頭症の患児に対しては、小児脳神経外科チームと小児科との合同治療チームでケアにあたり、入院病棟も小児科病棟でのケアになります。



閉塞性水頭症(先天性あるいは二次性中脳水道狭窄症など)に対しては、神経内視鏡を用いた第3脳室底開窓術を行っています。当科では硬性鏡(Oi handy Pro)と軟性鏡(Olympus Videoscope)の両者を使用しています。



第3脳室底開窓術